

次のそれぞれの問題について(1)日本語で答えること、(2)順番に横書きで答えること。上記の(1)または(2)に違反した場合は当該試験問題の点数を0点とする。

- 1、日本語における「語」の定義に関していろいろな説があるが、いずれにせよ今でもなお論議されている。その問題点について述べよ。(10%)
- 2、接頭辞「お」と「ご」が敬語的用法をもつようになった流れについて述べよ。(10%)
- 3、「新方言」研究の意義について述べよ。(10%)
- 4、日本における漢字制限の背景について略述せよ。(10%)
- 5、「音節」と「モーラ」について、例を挙げて述べなさい。(10%)
- 6、

{	a 「私は子どもに、自分で服を着せた。」
	a' 「私は子どもに、自分で服を着させた。」
{	b 「先生は生徒にいっせいに黒板の方を見せた。」
	b' 「先生は生徒にいっせいに黒板の方を見させた。」
{	c 「グリーン車の客は車掌に切符を見せた。」
	c' 「グリーン車の客は車掌に切符を見させた。」

上記の三ペアの文は皆自然な日本語なのか、それとも違うのか、または、意味的に違いがあるかどうか、などについて具体的に論じなさい。(10%)
- 7、語がその本来の意味から別の意味へ変わるということはよく見られる言語変化の一つである。例えば、机の「アシ」という言い方や、また「アシが速い」といった表現も使われたりするが、それはなぜなのか、意味変化の観点から説明しなさい。(10%)
- 8、「和製漢字」と「当て字」について述べなさい。(10%)
- 9、「湯桶読み」と「重箱読み」について述べなさい。(10%)
- 10、漢字、仮名、ローマ字、それぞれの文字としての特徴、長短を論じなさい。
(10%)

試題隨卷繳回